

2015年5月11日

日本物流学会 会員 各位

第32回全国大会実行委員会
委員長 丹下博文

第32回 日本物流学会 全国大会のご案内

拝啓 時下ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび本年の第32回全国大会を9月10日（木）～11日（金）の日程（別紙1）で、中部圏の名古屋市内にある愛知学院大学の新しい名城公園キャンパス（別紙2）において開催することとなりましたので、万障お繰り合わせのうえ是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。なお、今回の統一論題は「モノづくりと物流」（別紙3）とさせていただきます。また、研究報告の募集（別紙4～5）も同時に行いますので、多数のご応募をお待ちしております。

つきましては大会参加費（研究報告要旨集代を含む）と懇親会費は以下のようになりますので、同封の振込用紙にて事前のお振り込みを何卒よろしくお願い申し上げます。その際に通信欄の参加費や懇親会費等には○印を付け、振込手数料は大変恐縮ですが各自でご負担いただければ幸いです。お手数をおかけしますが、全国大会の開催に向けて皆様のご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

	<u>8月22日までの事前振込</u>	<u>8月23日以降の振込と当日払い</u>
正会員	5,000円	6,000円
準会員	2,000円	3,000円
非会員	8,000円	9,000円
懇親会費	5,000円	6,000円

* 懇親会費は会員・非会員とも同額です。また、学会顧問の方は正会員扱いとなります。

備考：振込口座： ゆうちょ銀行 00860-4-126267

第32回日本物流学会全国大会

第32回全国大会専用メールアドレス：jls32@dpc.agu.ac.jp

(別紙 1)

第 32 回 日本物流学会 全国大会プログラム (案)

9月9日(水) 午後にエクスカージョン(見学会)を予定
夕方に愛知学院大学の名城公園キャンパスにて
役員会(理事会)を開催予定

9月10日(木) 愛知学院大学の名城公園キャンパス1階にて

9時30分 受け付け開始
10時00分～10時15分 開会の挨拶
10時15分～10時45分 特別講演
10時50分～11時20分 特別講演
11時25分～11時55分 招待講演
11時55分～13時15分 昼食
13時15分～13時55分 基調講演
14時00分～14時50分 基調講演
15時00分～15時10分 歓迎の挨拶
15時10分～17時10分 会員総会(臨時の理事会を含む)
17時30分～19時30分 懇親会

9月11日(金) 愛知学院大学の名城公園キャンパス4階・5階にて

9時30分 受け付け開始
10時00分～12時15分 研究報告会
12時15分～13時30分 昼食
13時30分～15時10分 研究報告会
15時10分～15時20分 休憩
15時20分～ 研究報告会

- * エクスカージョンの参加者募集は別途、メールにて学会員に配信されます。
- * 研究報告会の会場は統一論題、自由論題、院生セッションの3つ(4～5室)に分かれます。また、控え室兼休憩室も用意されますので、ご利用ください。
- * 院生セッションの優秀な研究報告に対しては、後日、表彰が行われます。
- * 全国大会の最新情報は学会のホームページ(WEBSITE)に掲載されます。

(別紙2)

第32回 日本物流学会 全国大会の会場案内

愛知学院大学の名城公園キャンパスは2014年4月に開学したばかりの新しいキャンパスで、優れた学習環境に加えエコキャンパスでもあります。名古屋の都心部に位置し、近隣には名古屋城、名古屋市役所、愛知県庁などがあり、非常に利便性の高いキャンパスです。名古屋駅からは地下鉄東山線の「栄(さかえ)」駅で地下鉄名城線に乗り換え、「名城公園」駅で下車すれば徒歩3分以内で到着します。また、キャンパスの高層階に行けば、名古屋城や名城公園の景観、さらに名古屋駅前の高層ビル群も見ることができます。

したがって宿泊施設は名古屋駅や栄町の周辺であれば、今回の全国大会の会場となる名城公園キャンパスまでの交通アクセスは全く問題ありませんので、ホテル予約が必要な方は各自で行っていただければ幸いです。なお、大会期間中の昼食はキャンパス内の2階にあるレストラン「猿カフェ」(懇親会の会場にもなります)に行くか、あるいは1階にあるコンビニ「サークルKサンクス」にてお弁当を購入することもできます。近隣にも食事処はありますので、不明な点などは1階の受け付けや会場スタッフにお気軽にお尋ねください。



AICHI GAKUIN
UNIVERSITY

愛知学院大学

名城公園キャンパス

〒462-8739 名古屋市北区名城3-1-1

TEL 052-911-1011(代)



(別紙 3)

統一論題：モノづくりと物流

企業の経営資源はヒト、モノ、カネ、情報、技術などが挙げられ、そのなかでモノに関して従来は「モノづくり」すなわち製造業に重点が置かれてきました。しかし、モノは原材料であれ部品・半製品であれ完成品であれ、いずれも物流活動によって貨物として運ぶことが必要になります。運ばれてこそ経済的または商品的な価値が生まれたり高まったりするからです。その意味でモノを運ぶ、またはモノ（物）を流す物流ネットワークは経済の大動脈といっても過言ではありません。つまり日本の経済や産業を発展させるうえで、モノづくりと物流は切っても切れないほど不可分かつ重要な経済活動になるわけです。実際、モノづくりを支える物流は、戦略的なロジスティクスからさらにグローバルなサプライチェーン・マネジメント（SCM）へと進化してきています。

そうであれば21世紀の今日、モノづくりと物流の関係を再検討する時期にきていると考えられます。例えば日本のモノづくり企業では物流部門を子会社化または再編する動きとともに、物流企業ではサードパーティ・ロジスティクス（3PL）の分野が拡大を続けています。物流センターでは流通加工だけでなく小規模なモノづくり作業まで担う動きが見られ、物流がモノづくりに変革をもたらす現象すら予感させます。歴史的にも物流機能の一環であるマテリアル・ハンドリング（マテハン）の技術が、モノづくりの現場ではアSEMBリー・ライン（流れ作業）のなかで活用されてきました。もはや物流は付加価値を高めるためにモノを運ぶだけの業務を想定する時代ではなくなっているのです。

一方、今回の全国大会が開催される中部圏は地勢的に日本列島の中央に位置するとともに、経済的および市場的には関東圏と関西圏の中間点にあり、物流拠点としての優位性を備えています。さらに中部圏はトヨタ自動車の中核とする自動車産業を基盤にモノづくり（製造業）が盛んで、日本における「モノづくりのメッカ」とまで呼ばれ、この点は愛知県の製造品出荷額等が30年以上にわたり全国第1位を続けているという統計数値が裏づけています。名古屋港の総取扱貨物量も連続日本一を更新中で、空の玄関となる中部国際空港（セントレア）も開港10周年を迎え国際物流のインフラが整いました。

このような情勢を背景に「モノづくりと物流」を統一論題に掲げて開催される今回の全国大会の意義は極めて大きく、物流研究を通して日本の経済と産業の発展に貢献できる活発な研究報告と学術交流が期待されます。

(別紙4)

第32回 日本物流学会 全国大会の報告者募集

本年の9月11日(金)に愛知学院大学の名城公園キャンパスにおいて開催される全国大会の研究報告会における報告者を募集しますので、統一論題、自由論題、院生セッションにおいて多数の応募をお待ちしております。つきましては下記の全国大会の発表に関する規定(日本物流学会のホームページに掲載されています)を遵守し、別紙5(日本物流学会のホームページからダウンロードできます)の各項目にご記入のうえ、以下の送付先へ6月20日(土)までに必着にて電子メールまたはファックスで送付いただければ幸いです。なお、研究報告要旨原稿の提出締め切りは8月10日(月)になる予定です。

【研究報告申込用紙の送付先】

第32回日本物流学会全国大会事務局

電子メール：jls32@dpc.agu.ac.jp

ファックス：**058-329-1329** (朝日大学 土井研究室)

【研究報告申込用紙のダウンロード先】

日本物流学会：<http://www.logistics-society.jp>

《全国大会の発表に関する規定》

1. 全国大会で発表する論文の著者(および発表者)は、本学会の会員でなければならない。ただし共著の場合は、論文の筆頭者および発表者が原則として会員で、著者の半数以上が会員であることを発表の条件とする。たとえば、2名のときには最低1名が会員であること、3名のときには最低2名が会員であること(以下同様)。
2. 全国大会において発表する論文は、発表者1名に対して1論文とする。
3. 同一著者が複数の論文の筆頭著者となることはできない。ただし、他論文で2番目以降の共著者となることは認める。
4. 全国大会での発表を申し込んだ会員は、報告のための原稿提出と大会当日の発表が義務づけられている。原稿が提出できなかった場合は、発表を行うことはできない。また正当な理由がない限り、発表をキャンセルすることはできない。正当な理由がなく発表をキャンセルした場合は、原則として以降2年間は発表の申し込みが出来ないものとする。